

抗菌性物質薬剤耐性菌評価情報整備事業成果報告

事業名： 抗菌性物質薬剤耐性菌評価情報整備事業

事業形態： 農林水産省補助事業

事業年度： 平成24年度～平成25年度

1. 事業の概要

(1) 事業の目的

食の安全・安心に対する消費者の不安・懸念の一つとして、食品を介してヒトに薬剤耐性菌が伝搬する可能性があげられている。このような背景から、農林水産省から動物用医薬品又は飼料添加物として家畜に抗菌性物質が使用された場合のヒトの健康に対するリスク評価について食品安全委員会に諮問されている。

本事業は、動物用医薬品等として承認されているスルホンアミド系合成抗菌剤が家畜に使用された場合に、選択される薬剤耐性菌のヒトの健康に対する食品安全委員会での食品健康影響評価に必要な資料・情報の調査及び収集・整理を目的とする事業である。

スルホンアミド系合成抗菌剤の製造販売承認を有している7所社の参加を得て、本事業は平成24年度から平成25年度まで2年間に亘り遂行された。

(2) 事業の内容

本事業は以下の事業内容である。

ア： 食品健康影響評価情報担当者会議等開催事業

公益社団法人日本動物用医薬品協会が事業実施主体となり、協会内に事務局を置き、担当者会議開催等の効率的な事務推進を行った。

技術専門家からなる食品健康影響評価情報担当者会議を毎年2回開催した。

イ： 食品健康影響評価の進め方

食品健康影響評価は、ハザードの特定とそれに続くリスク評価により行われる。リスク評価は、発生評価、暴露評価、影響評価及びリスクの推定によって構成されている。この食品健康影響評価に必要な資料・情報の収集を行う。

2. 事業の成果

(1) スルホンアミド系合成抗菌剤の薬剤耐性菌評価情報の報告書を提出した。

(2) 評価の参考とした各種情報・文献・研究発表等を併せて報告した。